

宇都宮市立錦小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「国語の勉強は大切だと思いますか」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」「算数の勉強は大切だと思いますか」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問では、肯定割合が100%だった。「国語の勉強が好きですか」「算数の勉強は好きですか」の肯定割合は、県や国とほぼ同じかやや上回る程度であるが、「授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる」「授業で書いた文章を友達と伝えあい、自分の文章のよいところ見付けている」「物語の登場人物の性格や特徴、物語全体のイメージ、表現に着目している」と回答している割合が高く、授業で学習していることを大切だと感じ、身に付けていこうとする前向きな気持ちが見られる。このような学習に対する意欲的な傾向は、総合的な学習の時間、道徳、英語など、他の質問項目でも県や国より肯定割合が上回る結果として表れている。児童の学習に対する意欲を継続できるよう、学習内容を着実に習得できるような支援や学習内容に興味をもてる工夫など、児童の立場に立った授業づくりを目指していきたい。

○「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問で「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した割合は、合わせて88.9%だった。県は61.7%、国は62.4%だったので、どちらと比べても大きく上回っていた。今後も、学習の中でICT機器を効果的に活用していきたい。

○「読書は好きですか」の質問に対する肯定割合は、85.1%で県や国より約13ポイント高かった。「学校の授業時間以外に、普段、1日にどれくらいの時間、読書をしますか」の質問で、「2時間以上」「1時間以上、2時間より少ない」「30分以上、1時間より少ない」の範囲で答えた児童の割合は、合計で48.2%だった。これは、県や国よりともに約11ポイント高く、「全く読まない」と回答した割合が5.6%で県や国より約18ポイント低かった。また、「昼休みや放課後、学校や休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」の質問では、「だいたい週に4回以上行く」「週に1～3回程度行く」と回答した児童の割合が、合わせて27.8%で、県より15.5ポイント、国より13.4ポイント高かった。これらの結果から、学校図書館をよく利用していて、読書好きの児童が多いことが分かる。今後も、図書館司書や家庭と連携しながら、読書を奨励していきたい。

●「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の肯定割合は64.8%で、県より11.3ポイント、国より5.9ポイント下回った。また、「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強していますか」の質問では、勉強時間が「1時間以上～3時間以上」の範囲に入っている割合が46.3%で、県より16.9ポイント、国より10.8ポイント低かった。平日の放課後は学習時間を確保することが難しいことがうかがえる。錦小の「家庭学習の進め方」を参考にして、6年生の学習時間の目安である1時間以上を習慣づけられるように、家庭と連携しながら支援していきたい。

宇都宮市立錦小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組 | 取組の具体的な内容 | 取組に関わる調査結果 |
|-------------------------|---|--|
| 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 | 思考力・判断力・表現力育成につながる「自分の考えを書く活動」の習慣化や、それをもとに「話すこと・聞くこと」など言語に係る基本的な能力・技能を身に付けさせる「説明」「話し合い」の活動を充実させる。 | 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができるかどうかをみる問題や、日常生活の場面を解釈し、導いた答えが条件に当てはまるかどうかを判断する問題、面積の大小を判断した理由を言葉や数を用いて記述する問題等、国語・算数ともに、思考・判断・表現を評価する問題の正答率が、全国平均よりも高い傾向が見られた。 |

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

| 調査結果等に見られた課題 | 重点的な取組 | 取組の具体的な内容 |
|-------------------|-----------------------------|--|
| 算数における図形問題の正答率の向上 | 図形問題の反復練習と教師による分かりやすい解説の工夫。 | 個に応じた指導の充実を図るため、少人数指導と習熟度別学習を行ったり、学習内容の確実な定着のためのパワーアップシート等の効果的な活用をしたりする。また、授業での既習内容の復習と家庭での自主学習の奨励をする。 |